

“奇跡ではなく、当たり前のこと…”

先日、避難訓練を行いました。その際、東日本大震災での『釜石の奇跡』の話をしました。中学生が小学生の手を引き、避難所まで全員無事に避難することができました。しかし、地元の中学生からしてみれば『奇跡なんかではない。いつも通りのことをしたまで』だそうで、『なぜ、周りから奇跡と言われるのかわからない』と言っていました。日頃の訓練を真剣に行っていた結果なのです。釜石市は、過去にも何度も津波被害に遭った地域で、「**想定にとらわれない**」、「**最善を尽くす**」、「**率先避難者となる**」という津波避難の3原則を徹底していたそうです。そのことがこの震災で避難する際に生きたのです。この震災では、いろいろなところで**想定外**という言葉が聞かれましたが、釜石市のように「**想定にとらわれない**」ということ徹底しことで『釜石の奇跡』と呼ばれることにつながったのだと思います。実際、「**想定にとらわれない**」ということをしなかった地域（今までも大丈夫だったから今回も大丈夫だろうと判断した）では残念ながら多くの人の命がなくなり、大きな被害となりました。

学校生活でも入試で奇跡的に希望校に合格した。とか、部活動で強いチームに奇跡的に勝った。ということをとときどき聞きますが、実はこれらも奇跡でも何でもないので。その人が希望校に合格する力をしっかり身につけていたから合格したわけだし、部活動でも強豪チームに勝つ力をチームとして身につけたから勝っただけなのです。ようするにしっかりと努力を積み重ねて力をつけてきた結果なのです。しかし、“奇跡が起こればいいなあ～”なんて言って何もしなければ、当たり前ですが、力がつかないので望む結果を得ることはできません。上に書いてある「**想定にとらわれない**」を「やれることはすべてやってみよう」とか、「やってみないと結果はわからない」と解釈でき、反対の言葉、「**想定内・・・**」は、「そこまでしなくても」とか、「どうせやっても・・・無理」というように解釈できます。皆さんは、これからの中学校生活、勉強に部活動に、趣味などに取り組むときは、どうしますか？自分としては、「**想定にとらわれない**」で、常に自身の可能性を信じて取り組んでもらいたいと思っています。頑張ってください。

宮城県など震災被害に遭った地域には、多くの遺構や跡地があります。『えっ・・・』という言葉が失うところが多いです。気仙沼光洋高校（現在は遺構）もその一つで、自分は、そこで流されている映像の気仙沼市立階上中学校卒業式の答辞にとても感動し、その場から動けなくなり、何回も聞いてしまいました。また、石巻市立大川小学校（現在は遺構）は、ほぼすべての教員、児相が命を落としたところで、その校舎を目の当たりにすると何とも言えない気持ちになりました。そのほかにも多くの遺構があります。機会があれば一度行ってください。自分もまた行きたいと思っています。自分は、震災だけではなく、過去のことを知ることによって多くの学びがあり、その学びが生きていく中でヒントになったり、頑張る源になったりすると思っています。皆さんはどうでしょうか？